



2021年12月10日

国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンドへの投資

SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）は、国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンド（以下、「本債券」）への投資を決定しましたのでお知らせします。

1. 背景・目的

当社は、「お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献する」というグループ経営理念のもと、「社会的責任の遂行」を経営基本方針の一つとしています。今回の投資はその一環として取り組むものです。

ソーシャルボンドとは、「社会貢献債」とも呼ばれ、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券です。本債券は、国際資本市場協会（ICMA）^{※1}が定義するソーシャルボンド原則に適合した債券であり、第三者評価機関である日本格付研究所（JCR）から認定を取得しています。本債券への投資は、「すべての人々へ質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」という観点から、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標の達成に貢献いたします。

※1 ICMA：International Capital Market Association

2. 本債券の概要

債券名：第2回国立大学法人東京大学債券

発行総額：100億円

償還期間：40年

3. 今後について

当社は、本債券への投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。また、今後も生命保険会社として長期的に安定した収益を確保できる資産構築を目指す中で、ソーシャルボンドなどへの投資を通じた社会的責任の遂行に対応していきます。

以上